

台風7号(令和5年8月)に係る本局と連携した被災地支援

台風7号による被害発生後、鳥取県の要請で中国四国農政局の職員（MAFF-SAT）を被災自治体に派遣し、災害トリアージ（被害状況、災害対応状況、体制等の把握）を実施。

○ 施策分類

災害

農林水産省では、豪雨等により被災した地方自治体を支援するため、MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）を派遣している。

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和5年8月15日に鳥取県に接近した台風7号は記録的な豪雨をもたらし、大雨特別警報が発令された鳥取市、八頭町等で甚大な被害が発生した。

特に被害の大きかった鳥取市と八頭町については、鳥取県から中国四国農政局に対し技術系職員の派遣要請があり、MAFF-SATによる災害トリアージ、ため池調査、緊急概査（被災状況の把握、被害額の算出等）を実施した。

○ 取組の内容

当拠点の職員（8月16日～9月6日：延べ19名）もMAFF-SATとして同行し、農政局本局の技術系職員が行う災害トリアージ、ため池調査、緊急概査をサポートするため、写真撮影、測量補助、議事要旨の作成を行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

今回は当拠点にとって初めての取組であったが、災害対応に貢献できた。

今後も農政局本局と地元精通している拠点が連携し、災害トリアージの実施等、被災地支援を最大限行っていきたい。



ため池調査（鳥取市）



災害トリアージ（八頭町）



緊急概査（八頭町）

体制図

